

令和4年度 三重県立白山高等学校 第2回 学校運営協議会 議事録概要

令和4年7月20日(水) 18:30~

白山高等学校 2階 会議室

1. あいさつ

白山高等学校長

新型コロナウイルス感染症の影響もあるなか、感染症対策と熱中症対策の両面から運営している。企業からの寄付で、サーマルカメラを設置した。

生徒はずいぶん落ち着いた状況で学習活動が行われている。東海総体では、陸上競技部の砲丸投げに参加、ボクシング競技では優勝、野球は明日3回戦に挑む。

本日は、学習活動報告、中間評価をいただきたい。これまで本協議会で、「学校のイメージを正しく理解してもらっていない。」とのご意見に対し、保護者向けの説明会を新たに実施する。カリキュラムも一部リニューアル(観光ビジネス類型)し、学びを活性化したい。7月に発表された募集定員は、本校は2クラス(80人)となり、実態に即した定員となった。今後集まらないとなると存続に影響する。地域に必要な学校であり、希望されている学校なので、地域の皆様の益々のご理解とご支援を賜りたい。

三重県教育委員会

今回の会議は、コロナ禍のなかでも、1学期取り組んできたことの報告を受け、2学期以降のより良い学びを目指すとともに希望をもって入学する次年度の生徒のため、限られた時間で意見をもらいながらより良い学校づくりに取り組んでもらいたい。

2. 協議事項

(1) 白山高校の学習活動について

ユニバーサルデザイン、チームティーチング、総合的な探究の時間、成績の状況、夏季学校説明会、生徒指導、生徒の功績について説明

- ・ ユニバーサルデザインの授業とはどのようなものか。
→ 本時の目標を示したり、みやすい板書、動画で分かりやすく示すことで、生徒が理解しやすいよう心掛けている。
- ・ 点でなく線として、社会でも活躍できる体験や活動をしていることを中学生に説明してほしい。
- ・ 学校見学は、津・松阪地域からが多いが、伊賀・名張地域はどうか。
→ 伊賀・名張地域からも来る。以前は津・松阪地域が多かったが、広域から来る。
- ・ 定員(普通40人、情報コミュニケーション40人)を決めるにあたり、メリットデメリットなど話し合われた経緯を教えてください。
- 教職員の数が減ることが懸念され、一番減りにくい方策をとった。
- ・ 松阪地域の学校の定員が増えたのはなぜか。

→ 入学者数の見込みから算出し、公の協議会、部会等で子どもの学びの選択肢について議論したことを参考にしている。

・ 情報コミュニケーション科は定員割れしていたが、どうしていくか。

→ 中学生に学科の特性を理解してもらえるようにしていく。地域の資源を活用することやビジネスに役立つマナーなど力を入れることが大切だ。

(2) 学校マネジメントシートについて

これからの流れも考え、「部活動」を「スポーツ・文化活動」と変更した。

(3) 令和5年度入学生 高校入試について

・ 7月初旬に、県の入試方針が発表され、白山高校では、普通科が1クラス減、人数が1クラス35人から40人となり、105人から25人減の80人募集となった。

「夢の実現へ～あなたの好きを見つけよう～」と題して、情報コミュニケーション科では、新しく、観光ビジネス類型をつくり、社会に出て役立つ資格を学ぶとともに、地域の観光について理解を深め、ホスピタリティ（おもてなし）を学ぶため、教育課程を変更した。

→ 「白山観光学」を選択科目にしたことは、観光ビジネス類型の生徒は全員学び、他の系列の生徒も学ぶことができ、よいカリキュラムだ。

・ 卒業後、学んだことを生かす業種から求人は来ているか。

→ 企業の即戦力となる人材を目指し、観光の視点で考えられる力を養ったり、マナーを学んだりしている。どの業種でも学んだことを生かした仕事に活用できる。

・ 名松線を使って観光客は来ているか。駅のガイドポスター、視覚障がい者へのガイドヘルパー、ウォークラリールート案内図など作ってはどうか。

・ 空き教室は有効利用しているか。

→ 選択授業など何らかの利用をしている。

・ 情報コミュニケーション科では、何の資格が取れるか。

→ ワープロ、簿記、電卓、商業経済の資格が取れる。

(4) その他 なし

3. 連絡事項

(1) 次回の日程について

第3回 11月24日（木）18：30～開催予定。

(2) その他 なし